

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

# 高齢運転者の交通事故発生状況 令和3年中

## 1 高齢運転者事故の発生状況

令和3年中の高齢運転者（65歳以上の運転者）が第1当事者となった人身交通事故（軽車両を除く）は、前年と比較して、発生件数、負傷者数とも減少し、死亡事故も13件13人で-1件-1人と減少しました。

【高齢運転者事故発生状況】

(令和3年中)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	1,001	13	13	137	1,010	1,147
前年	1,148	14	14	138	1,264	1,402
増減	-147	-1	-1	-1	-254	-255
率	-12.8	-7.1	-7.1	-0.7	-20.1	-18.2

【高齢運転者死亡事故発生状況】

(令和3年中)

No.	発生年月日等							発生場所	路線	形状	事故類型	第1当事者		第2当事者			
	年	月	日	時	曜	昼夜	天候					高齢者	死亡	車種	高齢者	死亡	車種
1	3	1	18	13	月	昼	晴	美里町練牛	国道	カーブ	四輪車相互	◎	-	普乗	-	◎	軽乗
2	3	2	5	13	金	昼	晴	大和町鶴巣幕柳	県道	直線	四輪車相互	◎	◎	軽乗	-	-	大貨
3	3	3	28	18	日	夜	雨	大河原町金ヶ瀬	町道	直線	四輪×自転車	◎	-	軽貨	◎	◎	自転車
4	3	4	15	6	木	昼	晴	角田市高倉	国道	交差点	四輪車相互	◎	◎	普乗	-	-	普乗
5	3	5	13	10	木	昼	晴	名取市飯野坂	県道	直線	人×四輪	◎	-	軽貨	◎	◎	歩行者
6	3	6	19	13	土	昼	雨	東松島市上下堤	国道	直線	四輪車相互	◎	◎	軽貨	◎	-	普乗
7	3	7	1	17	木	昼	雨	加美町漆沢筒砂子	国道	カーブ	四輪車相互	◎	◎	普貨	-	-	大貨
8	3	7	6	11	火	昼	晴	亘理町吉田	国道	交差点	四輪車単独	◎	◎	普乗	-	-	-
9	3	7	19	8	月	昼	晴	七ヶ浜町吉田浜	県道	カーブ	二輪車単独	◎	◎	原付	-	-	-
10	3	8	19	9	木	昼	晴	岩沼市稲荷町	市道	直線	四輪×自転車	◎	-	普乗	◎	◎	自転車
11	3	8	19	9	木	昼	晴	栗原市栗駒沼倉	国道	カーブ	四輪車相互	◎	◎	軽貨	◎	-	軽乗
12	3	9	24	10	金	昼	晴	石巻市小船越	一般交通の場所	その他	四輪車単独	◎	◎	普乗	-	-	-
13	3	11	5	5	金	夜	晴	角田市角田	市道	直線	人×四輪	◎	-	軽貨	◎	◎	歩行者

## 2 高齢運転者事故の発生推移 (基礎データ平成24年～令和3年)

全人身交通事故が10年間で58.8%減少(平成24年10,409件→令和3年4,286件、-6,123件)しているのに対し、高齢運転者事故は32.3%の減少(平成24年1,479件→令和3年1,001件、-478件)にとどまっています。

過去10年間の全人身交通事故に占める高齢運転者事故の割合は、平成24年の14.2%から令和2年まで右肩上がりに上昇し、令和3年は前年と比較して低下しましたが、依然として高い割合となっています。



区分	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年
交通事故発生件数	10,409	9,851	9,142	8,624	7,986	7,491	6,815	5,675	4,487	4,286
高齢運転者事故件数	1,479	1,439	1,481	1,534	1,603	1,500	1,458	1,294	1,148	1,001
占める割合	14.2	14.6	16.2	17.8	20.1	20.0	21.4	22.8	25.6	23.4
死者数	13	19	24	21	17	17	16	12	14	13
負傷者数	1,835	1,828	1,850	1,931	2,014	1,811	1,752	1,565	1,402	1,147
死傷者数	1,848	1,847	1,874	1,952	2,031	1,828	1,768	1,577	1,416	1,160

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

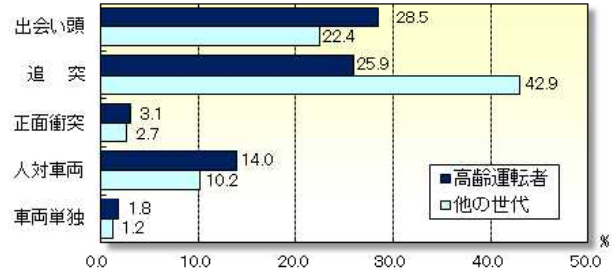
### 3 高齢運転者事故の発生特徴等 (基礎データ令和3年中・第1当事者が原付以上の人身交通事故)

#### (1) 出会い頭事故の構成率が他の世代より高い

事故類型別では、出会い頭事故の構成率が28.5% (1,001件中285件) で、他の世代と比較して6.1ポイント高くなりました。

それに対して、追突事故の構成率は25.9% (259件) ですが、他の世代と比較して17.0ポイント低くなりました。

【事故類型別発生状況(構成率)】



#### (2) 交差点での発生割合が高い

発生場所別では、交差点の構成率が48.2% (1,001件中482件) で、他の世代と比較して9.7ポイント高くなりました。

【発生場所別構成率】

区分	交差点	交差点付近	直線	カーブ	駐車場等	その他
高齢運転者	48.2	12.7	28.9	2.5	7.8	0.0
他の世代	38.5	16.7	37.0	3.1	4.6	0.0
差	9.7	-4.0	-8.1	-0.6	3.2	0.0

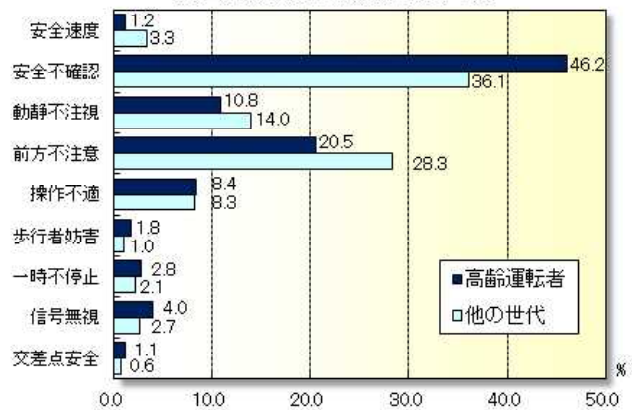
#### (3) 駐車場等での発生割合が高い

発生場所別では、店舗や病院の駐車場等「一般交通の用に供するその他の場所」の構成率が7.8% (1,001件中78件) で、他の世代と比較して3.2ポイント高くなりました。

駐車場等での事故の行動別では、後退時が47.4% (78件中37件) で最も多くなりました。

なお、同場所でのブレーキ踏み違い事故は7件発生しました。

【違反別発生状況(構成率)】



#### (4) 安全不確認による事故が多い

違反別では、安全不確認が最も多く、構成率が46.2% (1,001件中462件) で、他の世代と比較して10.1ポイント高くなりました。

また、歩行者妨害、一時不停止、信号無視等の交差点関連違反の構成率が、他の世代と比較して高くなりました。

#### (5) 免許人口に対する事故率が高い (基礎データ平成29年～令和3年)

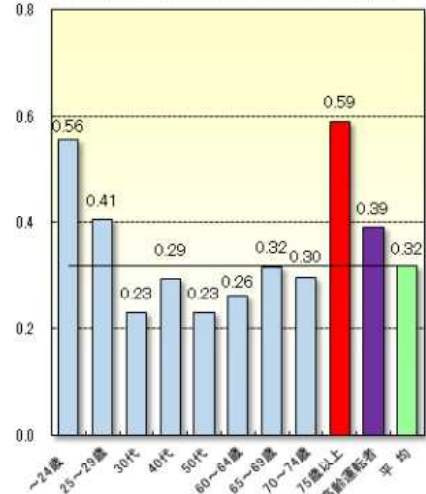
免許人口1万人当たりの、第1当事者(原付以上)の年代別死亡事故発生件数は、1年間当たり高齢運転者が0.39件で、全年代平均(0.32件)の1.22倍となりました。

特に、75歳以上の運転者は0.59件と、全年代平均の1.84倍、74歳以下の運転者(0.30件)の1.97倍に達しました。

【免許人口1万人当たりの死亡事故件数(平成29年～令和3年5年間)】

第1当年齢	免許人口	事故件数	免許人口1万人当たり(年に換算)		
			平均との差	同倍率	
～24歳	108,016	30	0.56	0.24	1.75
25～29歳	98,464	20	0.41	0.09	1.28
30歳代	243,991	28	0.23	-0.09	0.72
40歳代	312,223	46	0.29	-0.03	0.91
50歳代	279,219	32	0.23	-0.09	0.72
60～64歳	129,878	17	0.26	-0.06	0.81
65～69歳	133,066	21	0.32	0.00	1.00
70～74歳	128,231	19	0.30	-0.02	0.94
75歳～	108,289	32	0.59	0.27	1.84
(高齢運転者)	369,586	72	0.39	0.07	1.22
計(平均)	1,541,377	245	0.32	0.00	1.00

(件) 【免許人口1万人当たりの死亡事故件数】



注：免許人口は令和3年12月末現在